

# ばちんこ 言葉物語

36

## ウインちゃん

今回の言葉物語は、オリジナルキャラを豊富に持つメーカー、山佐さんの中でも特にかわいくて今もファンを持つ「ウインちゃん」に焦点を当ててみたいと思います。

現代でこそ著作権ものをはじめとするキャラクターは当たり前のようになっていますが、そのキャラクター導入の先駆けとなったのは、1993年に登場した山佐「ニューパルサー」でしょう。2号機時代の1989年に「ビッダパルサー」でスイカに目を付けたキャラクター的図柄を採用しました。以降キャラクター戦略を明確に導入し、

オリジナル色の強いスロットを続々世に登場させ、スロット専門メーカーとしての確固たる地位を今日まで築いています。**独自キャラをうまく利用**  
その中で2000

年に液晶を駆使しキャラクター色全開のスロット「タイムクロス」が登場しました。



秀逸なリール制御と液晶演出などで今も名機と語られる「タイムクロス」

このころでは同年にCT機「アステカ」、そして翌年以降ではAT機「獣王」なども登場し出玉競争が過熱気味に進む中でしたが、同機の秀逸なリール制御とナビ矛盾によるボーナス示唆演出などでファンを魅了しました。

それと共に、液晶演出のストーリー進行でウインちゃんを用いた流れが分かり易く、またノーマルAタイプという波の穏やかなゲーム性もあり、実際に私がホールにいた頃でも女性の方のご遊技が多い印象がありました。AT機の華やかさには稼働面でも及ばなかったものの、懐の深いゲーム性は飽き



ファンを驚かす!?  
山佐の看板キャラ「ウインちゃん(0歳)」  
最新作タイムレスキューでは7歳まで成長している  
©yamasa

れることなく、多くのホールで続編のタイムパークと共にノーマルタイプ機種としてホールも安定して長く設置していました。「噛めば噛むほど味が出る」台であり、このタイムシリーズこそ、その代表格とも言えるシリーズと言えるでしょう。

### 安価な遊技機のためにも

同シリーズの特徴は「主人公が成長している」という点が挙げられます。シリーズ各機種の特徴を活かしつつ、メインキャラクターであるウインちゃんはタイムクロスでは0歳、タイムパークでは3歳、最新機種のタイムレスキューでは7歳と設定しており、途中スピンオフ機も含める4世代という時間軸で表現されてきた機種は過去に例がありません。

各機種ともノーマルAタイプと各種

ステージ毎に異なる液晶演出の導入という原則は活かして味付けをその時代に合わせて行ってきたおり、メーカーのこのキャラクターに対する愛情を感じずにはいられません。

昨今は著作権ものが主流となる中で、著作権という名の元に表現できる幅も中々難しく、例えば漫画で表現する際には図柄の手書きが出来ないなどの制約も多く出てきていると聞きました。世界観の表現について、その著作権の持つイメージは確かに大事ですが、国内全体における遊技人口の絶対的な縮小の前提に立ち各方面での協調が必要ではないでしょうか。

またメーカーサイドにおいてもオリジナルキャラの使用による比較的安価な遊技機の供給やキャラクタービジネスの模索など、厳しい時代の到来を前にした新たな手法も必ずや必要になってくるでしょう。その中で、オリジナルコンテンツを多数持つ山佐さんは非常に強いと個人的に思うのです。あのシリーズの続編まだかなと心待ちにしているスロットユーザーは多数いるはず。是非成長したウインちゃんが登場をまた見てみたいものです。

(大和田敏男)

## 成長していく可愛さ